



袋井  
名刹

# 法多山 尊永寺

「はったさん」の名で親しまれる真言宗の古刹


袋井市豊沢




法多山尊永寺は遠州三山のひとつで「はったさん」と親しみを込めて呼ばれています。神亀2(725)年、行基によって開かれたと伝えられる真言宗の古刹です。本尊正観世音菩薩は厄除観音として知られ、正月には多くの老若男女が初詣に訪れます。春は桜、夏はホタル、秋はイチョウが美しく、また「田遊祭」「節分祭」「万灯祭」の行事には大変な賑わいを見せます。境内で売られている厄除けだんごは参拝者の楽しみのひとつでもあります。

桃山時代の様式を今に伝える仁王門、東京国立博物館に展示されている金銅五種鈴は国指定重要文化財となっています。



『緑陰おはなし会』市立図書館

**25** 尊永寺黒門  平成元年4月1日  
市指定文化財建造物  
檜皮葺切妻の四脚門である。宝永8(1712)年の銘がある。説明板あり。

 国指定重要文化財  県指定文化財  市指定文化財



**5 尊永寺仁王門** 昭和29年9月17日  
国指定重要文化財建造物

寛永17(1640)年の棟札が残される、室町時代末期の特色を残し、播磨国(兵庫県)から移築したとも言い伝えがある。入母屋造、こけら葺の楼門。  
文化財ビデオ第15集『保存修理の最前線—重要文化財尊永寺仁王門保存修理の記録—』。  
説明板あり。駐車場(一部有料)。



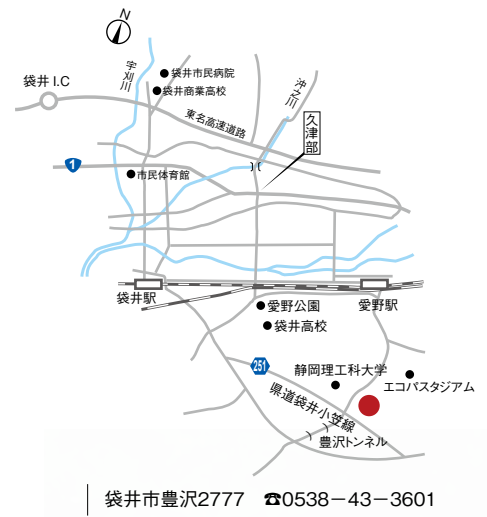
**6 金銅五種鈴** 昭和31年6月28日  
国指定重要文化財工芸品

鎌倉時代の製作。銅鑄製。鍍金を施している。高さは平均約26cm。東京国立博物館で展示・保管。



**19 法多山田遊祭 七段** 昭和35年4月15日  
県指定文化財民俗文化財

室町時代から伝わる「予祝芸能」で、その年の実を豊かなものになるよう仏に約束させる芸能です。毎年1月7日に行われ、七段の舞が奉納されます。  
文化財ビデオ第7集『法多山田遊祭 七段』。



袋井市豊沢2777 ☎0538-43-3601

